学校版環境ISOコンクール取組の概要報告

天草市立栖本中学校

本校は、平成９年度から「河内川」を舞台にして、環境教育やボランティア活動に取り組んできました。また、平成１４、１５年度は熊本県教育委員会指定「環境教育」研究発表会を開催し、本校の取組を多くの方々に伝えることができました。そのような取組の成果が、生徒や職員や保護者や地域の方々の河内川や豊かな自然を守っていこうとする姿に少しずつ現れてきています。

今、「学校版環境 ISO」や「家庭版環境 ISO」に取り組んでいくことは、私たちの環境に対する意識を振り返り、さらに高めていく好機としてとらえ、取組を実践しています。

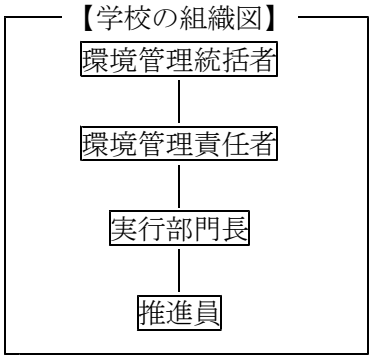
そして、以下に本校の取組をまとめました。

１「組織編成」の内容

（１） 学校の組織（職員数１４名）

① 環境管理統括者（校長）
② 環境管理責任者（教頭）
③ 実行部門長　　（環境教育主任）
④ 推進員　　（各職員）

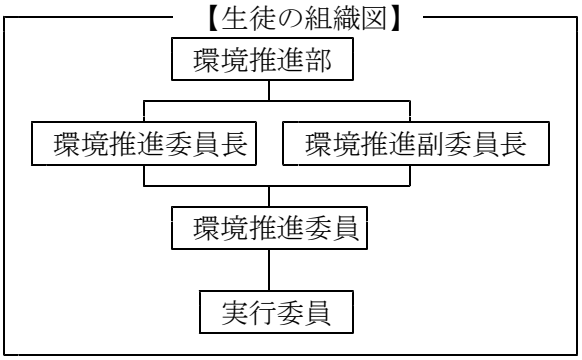
＊職員の推進委員会メンバー
（校長、教頭、教務、環境教育主任）



（２） 生徒の組織　（生徒数９０名）

① 環境推進部
（生徒会執行部・各委員長・環境委員）
・環境推進委員長　（生徒会長）
・環境推進副委員長（環境委員長）
・環境推進委員　　（各委員長・環境委員）
② 実行委員　　（生徒会全員）

＊生徒の推進委員会のメンバー
（執行部・環境委員）



２「宣言項目」の決定

○「宣言項目」の決定については、昨年度までの経過をもとにし、それらをさらに高められるように内容項目も踏襲した。

① 事業推進の説明（職員会議）
② 環境 ISO の説明（生徒朝会）
・今後の活動についての説明
・「学校版環境 ISO」の意義

＊「わたしたちにできることはないか？」
宣言項目５項目を参考にして各自で考えた。

③学級での話し合い
④宣言項目の決定（環境委員会）
⑤生徒会執行部との話し合い
⑥宣言項目の発表（生徒朝会）

↑宣言項目発表の様子

３「宣言項目」実施について

「学校版環境 ISO」については、生徒が中心となった実践ができるように配慮し、「学校版環境 ISO」の活動を生徒会活動の中に位置づけて実施した。

宣言します　・「職員・生徒宣言項目」について

職員の宣言項目	生徒の宣言項目
１　紙を節約します。 （裏紙使用，裏刷り印刷，新聞紙の再利用）	１　紙のむだ使いを減らします。 （配布された用紙をきちんとファイルし， 裏紙もむだなく使った…２点） （むだ使いをしていない…１点） （むだ使いをした……０点）
２　水を節約します。 （生活面，掃除時間の水節約）	２　水を節約します。 （手洗い時こまめに水を止め， 雑巾はバケツを使い節水した…２点） （上のどちらか１つできた……１点） （上のどちらもできなかった……０点）
３　電気を節約します。 （室内の照明を節約）	３　電気を節約します。 （移動時，無駄な照明を確認し， 消すことができた……２点） （ときどき消すのを確認し，消した……１点） （よく消し忘れがあり，そのままにした…０点）
４　ごみの分別をきちんとします。 （燃えるごみ・燃えないごみ・資源ごみの分別）	４　ごみの分別をきちんとします。 （燃えるごみ，燃えないごみ，資源ごみ をきちんと分別できた…２点） （やったりやらなかったりだった……１点） （全然分別をできなかった……０点）
５　学校備品を大切に使います。 （備品管理，整理整頓）	５　環境のために自ら考動します。 （考えて行動できた……２点） （少しは考えて行動できた……１点） （考えて行動できなかった……０点）

行動します　・『学校版環境ISO』と環境教育で取り組んだことについて

１「省エネルギー」

（１）『節電』呼びかけシール、『節水』呼びかけポスターを掲示する。

↑各教室の節電シール

↑手洗い場の節水ポスター

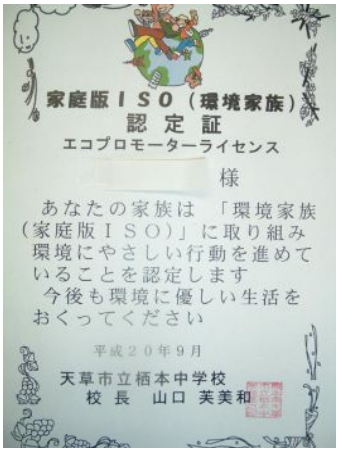
（２）雑巾はバケツで洗うことを徹底する。

２「ごみ分別」

（１）各教室のごみ分別ボックスを設置する。
（２）ごみ回収ボックスを設置し、ごみ捨て場の環境を整備する。
（３）ごみの計量（掃除中に各教室のゴミを計量）を行う。

↑教室のごみ分別ボックス

↑ごみの計量の様子

3「ボランティア活動」	（1）ふるさと川づくり河童隊（河内川の清掃活動） 　河内川の清掃活動を通して、川の大切さ、川遊びの楽しさを知ったり、小学生や保護者との交流を図る目的で、栖本小学校、ＰＴＡと連携して行っている。ごみ拾い、ごみの分別、活動の記録、水質調査などを６グループに分かれて、実施している。ごみの収集量は年々減少しており、水質も維持しているという結果から、環境に対する地域の人々の意識の向上を示している。この活動は今年１２回目を迎えた。 **↑ふるさと川づくり河童隊の様子**
4「学び，伝える」	（1）『家庭版環境 ISO』の実施 　夏休みに、各家庭で『家庭版環境 ISO』に取り組んでもらった。事前にパンフレットと行動記録表を配布し、内容の周知を図った。各家庭毎に取り組みたい項目を１０項目決め、実践し、記録し、見直すという流れで行った。９月に行動記録表を提出してもらい、校長名で認定証を配布した。 　各家庭とも工夫された取組が行われており、環境に対する意識の高さがうかがわれた。  家庭版ＩＳＯ（環境家族） 認定証 エコプロモーターライセンス 様 あなたの家族は「環境家族（家庭版ＩＳＯ）」に取り組み環境にやさしい行動を進めていることを認定します 今後も環境に優しい生活をおくってください 平成２０年９月 天草市立栖本中学校 校長　山口 芙美和 家庭版ＩＳＯ（環境家族）行動記録表 **↑家庭版環境ISO認定証**　　**↑家庭版環境ISO行動記録表**

記録します　**「記録カード」を用いたチェックシステムについて**

（1）生徒のチェックシステム

① 生徒個人用チェックカードに毎週末（金曜）の帰りの会時に、各自記入する。

② 月末統計（環境委員会）でクラス全員のチェックカードを集計する。

③ 集計結果をまとめ、生徒朝会で環境委員長から報告し、環境コーナーに掲示する。

↑学校版ISOの結果を
集計している様子

↑学校版ISO集計表

↑教師個人用チェックカード

（２）教師のチェックシステム

①教師個人用チェックカードに毎月末の職員朝会時に、各自記入する。

②環境教育主任が集計を行い、結果を生徒朝会時に報告し、環境コーナーに掲示する。

見直します・「見直し」の流れについて

（１）各委員会での見直し（生徒）

生徒会活動では、環境教育の視点から各委員会活動での取組を見直し、自分たちにできる活動を生徒自身の視点で見直させ、次の活動へとつなげている。

① ごみの計量を行い、ごみの減量化を呼びかける。（生徒会執行部）
② 移動教室の時、教室の電気を消す。（生活安全委員会）
③ 環境美化の呼びかけのポスターやシールを校内に掲示する。（文化広報委員会）
④ 給食の残滓調べを行い、残滓を出さないように呼びかける。（給食委員会）
⑤ 運動場の除草などを行い、校内環境を整備する。（体育委員会）
⑥ 教室やロッカーの整理整頓を呼びかける。（学級学習委員会）
⑦ 紙は裏紙を多く利用し、教室に裏紙用、古紙用のステーションを設置する。（環境委員会）
⑧ 掃除の時、雑巾はバケツで洗い、節水するよう呼びかける。（環境委員会）
⑨ 花壇や植え込みなどの校内環境を整備する。（環境委員会）
⑩ ごみの分別を徹底させる。（環境委員会）
⑪ 給食後の歯磨きは、流水を使わずコップを使用させる。（保健委員会）
⑫ 環境に関する書籍の紹介をする。（図書委員会）

（２）教師の見直し

① 配布プリントは必要最低限の枚数を印刷する。
② パソコンを使用しない時は、電源を切る。
③ 備品の整理整頓を行い、備品管理を徹底する。

↑「肥後の水とみどりの愛護賞」新聞記事

4 取組を振り返って

今年 10 月 28 日、地域住民とともに河内川を中心に様々な環境学習に取り組んだことが評価されて、「ふるさと川づくり河童隊」の活動が『肥後の水とみどりの愛護賞』として表彰されました。これまでの本校の環境教育の実践が認められたことは、大変名誉なことです。

毎年、生徒や職員が入れ替わる中で、環境に対する意識を持続・向上させることは難しいことです。過去の実践に胡座をかくのではなく、ＰＤＣＡシステムにより、昨年度よりさらに良い実践ができるように、全校あげて、ＰＴＡや地域住民と協力して取り組んでいきます。